

進学経験と感想

周怡辛

2019年4月に海南大学3+1留学プロジェクトを通じて、日本に来ましたが、海南大学を卒業するにあたって、2020年3月いったん中国に帰国しました。もともと2020年7月に日本に戻って、大学の夏入試に参加する予定でしたが、新型コロナの影響で2020年11月によくやく日本に再入国することができました。しかし、当年度のN1試験は実施されなかった為、受けられる大学は少ないうえ、自分は面接もあまりよくできなかつた為、2020年の冬入試は失敗に終わりました。2021年の夏入試では初心を忘れず、再度横浜国立大学に挑戦した結果、幸いにも合格しました。

大学院に合格したことは人生の道の新しい出発点であり、従って、私は「成功した人」としてこの文章を書いた訳ではなく、自分の経験と考え方を皆さんと共有したくて、皆さんのお役に立てればと思っただけです。

日本語の勉強について

日本語の学習においては、私には発言権はありません。何故なら、亜細亜友之会外語学院に来た時は0レベルでしたし、来日する前にアニメもあまり見たこともありませんでした。その為、私の日本語の進歩は遅かったです。亜細亜友之会外語学院の先生はとても責任感がありますので、私は先生方の鞭撻のもとで、日本語を一步一步と強化していくことができました。従って、日本語の勉強においては本当に亜細亜友之会外語学院の先生に感謝をしたいと思います。

大学院の筆記試験について

私は大学での専門は金融でしたので、日本に来て大学院で経済学を引き続き勉強したいと思いました。大学院の経済学研究科の入試科目は「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」、「統計学」、「計量経済学」、「経済史」があるのが一般的です。その内2科目を選ぶことができます。

多くの学生はミクロ経済学とマクロ経済学を選んでいます、数学に自信のある学生は統計学を選んでもよいのです。大学での専門は経済との関連性があれば、ミクロ経済学とマクロ経済学を選ぶでしょう。しかし、日本の大学院の研究の方法、重心は中国国内と区別があります。従って、中国の参考書は購入せずに、学校または塾のアドバイスで日本語の参考書を購入したほうがよいでしょう！電子バージョンの参考書はネット上でもみつけることができますが、紙ベースの本を読むことをお勧めします。なお、一部の大学院では近年の過去問題も、大学のホームページ上に掲載されているだけではなく、塾もリソースを持っています。問題をやることを通じて、大学院の出題の傾向を見つけ出すことが重要です。

大学院の面接について

大学院の試験の直前は、日本語学校の夏休みでしたが、大沢先生、宮原先生、岩崎先生はずっと私の面接練習をして下さっていたので、とても感謝しています。

私は緊張しやすいタイプなので、一回目の冬入試の時は練習の成果を上手く発揮できませんでした。それを反省して、二回目の夏入試の筆記試験の後、私は筆記試験のことは一切考えないで、散歩したり、面接の下書きを確認しながら、リラックスしていました。

日本語を勉強してから大学院入試に至るまでの道のりは長かったです。新型コロナの影響で、中国国内の大学院の受験も視野に入れましたが、日本に入国できると知った途端、日本に入国して日本の大学院の入試に挑戦しました。一人ひとりの来日の目的は違います。目的はいずれにせよ、必ず持っていてください。夢は明確でなくとも、他国にいる我々の灯台になります。

最後に、亜細亜友之会外語学院の先生方に感謝したいと思います、先生方の推薦で、私は、進学祝い2等奨学金を受賞しました、本当にありがとうございました。